

先輩起業家 心構え説く

山形元気づくり創業塾開講

やまがた産業支援機構主催の「山形元気づくり創業塾」が5日、山形市の県産業創造支援センターで開講した。初日は先輩起業家3人が創業希望者に向けて心構えやメリットを説いた。



食材卸売業「伝統野菜とその仲間たち」(山形市)の武居万理子社長は東京からUターンして昨年8月に起業し、「安定した給与は良いが、起業すると頑張った分の報酬を得られる」と説明。周囲の人に支えられているとし、今後は産地と消費者をつなぐ事業を手がけたいと展望を語った。

子ども向けのAI(人工知能)教室を始めたAIキッズラボ(同)の黒坂光輝代表は時間のない中で準備し、無料の相談機関を活用したと振り返った。「応援してくれる人がいると思うと、きつい時に踏ん張れる」

先輩起業家が創業の心構えや注意点を説明した創業塾
山形市・県産業創造支援センター

る。不安だったが、起業して良かった」と話した。

角打ちのできる酒販店「さけ家こんこん」(同)

を6月に開いた武田範子代表は会社員から転身した経緯を説明。酒が好きで「試飲して購入できる店を出したい」との夢を実現したという。家族の反対にあった

が「今しかないと思い押し切った。今は応援してくれている」とし、行動力と熱意があれば夢は実現するとメッセージを送った。

創業塾は毎年開催。本年度は17人が受講し、12月22日までの日程で、集合研修や個別講義で創業のイロハを学ぶ。(菅原武史)

「山形新聞2024年10月6日」